

令和6年度 市教研教頭部 事業計画

1 研究構想

(1) 研究主題

未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくりを目指して（第Ⅸ期2年次）

(2) 主題設定の理由

本年度は第3次浜松市教育総合計画「はままつ人づくり未来プラン」後期の5年目にあたり、市の教育理念「未来創造への人づくり」「市民協働による人づくり」のもと、各校でキャリア教育に重点を置いた教育活動の推進が図られている。また、学習指導要領をふまえ、よりよい社会と幸福な未来の創り手を育てるために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善に取り組んでいる。

浜松市教頭会では、社会の変化に柔軟に対応しながら、自校の教育活動の在り方を見直してきた。「はままつの教育」が目指す「自分らしさを大切にする子供」「夢と希望を持ち続ける子供」「これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」の育成を目指し、これまでも各校でその具現化が図られてきた。これからはさらに「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、子供たちに必要な力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していかなければならない。

本年度の研修主題は、第13期（令和5年度～令和7年度の3年間）の全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」との関連も図り、「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくりを目指して」を継続する。また、研究の視点も同様に「教育課程・子供の発達」「環境整備・組織運営」「教職員の専門性・教頭職務」の3つとし、各校の学校教育目標の具現に向けた教頭としての役割について研究に取り組んでいく。

「教育課程・子供の発達」	… 社会に開かれた教育課程の創造、求められる資質・能力の育成、キャリア教育の推進
「環境整備・組織運営」	… 危機管理体制の在り方、教育の情報化、組織マネジメント、人材育成、コミュニティ・スクール
「教職員の専門性・教頭職務」	… 教職員の資質向上、教職員の協働体制づくり・チーム学校における取組、働き方改革の推進

本年度の研究にあたっては、「教頭自身の力量を高めるとともに、教職員個々のたゆまぬ自己改革を促し、育成すること」「校長の経営理念を理解し、より質の高い教育活動を展開する学校体制をつくること」「学校の教育方針や実践活動等を家庭や地域、教育機関等に発信し、地域と共にある学校づくりを推進すること」を常に意識して職務に専念することを全校の教頭で共通理解して研究を進めていきたい。

(3) 評価他

ア 前記3つの視点からの研究は、第3次浜松市教育総合計画に照らした達成度とともに、各校の実践に質の高まりが見られるかを評価しながら推進する。

イ 必要に応じて各校へのアンケートや聞き取り調査を行う。

ウ 浜松市教育研究会教頭部の研修会をもって、浜松市教頭会の研修会にあてる。

（教頭会会則第6章第10条の2より）

2 研究組織及び各部門の担当内容

- (1) 「県大会」部門 : 県研推関係、県教頭会研究大会の運営及び参加に関する庶務、要項作成、発表内容の検討

- (2) 「市全体研修」企画運営部門：浜松市教育研究会教頭部における全体研修会の企画及び運営、課題検討研修会の企画及び運営
- (3) 「部会研修」部門：浜松市教育研究会教頭部における部会研修会の企画及び運営、研究集録の作成

3 研究推進の方法

- (1) 基本的な考え方
部会研修を中心に進め、部会内での研修を充実させる。市全体での発表や研究のまとめの際に各部会各校の実践内容を取り入れる。
- (2) 発表に向けて
ア 令和6年度は、県研究大会で5部会が発表をする。浜松市は、第3課題（教育環境整備に関する課題）で発表する。
イ 12月5日（木）の市教研教頭部の研修会で、5部会が実践発表をする。
- (3) 研究のまとめの作成
ア 研究の成果を、部会ごとにまとめる。発表部会（5部会）は6ページ、その他の部会は6ページ以内にまとめる。
イ 部会毎にまとめた内容は、ミライムを利用して全教頭に電子媒体で配付する。
ウ 部会研修担当を中心に、部会全体で取り組む。
- (4) 課題検討研修会
必要に応じて、喫緊の課題について、講師を招聘して研修会を行い、教頭の職務に関する課題について解決を図っていく。

4 部会研修

- (1) 部会の課題に応じて研究テーマを設定し、研究を進める。令和5年度まで各部会で行ってきた研究を継続し（継続性）、また「教育課程・子供の発達」「環境整備・組織運営」「教職員の専門性・教頭職務」を視点としてテーマを決定し、各校の実践事例を持ち寄り、教頭としての関わり方（関与性）、工夫・改善した点（改善性）、成果と課題等について協働して検討する。
- (2) 各部会の研究テーマや実践と第3次浜松市教育総合計画との関連項目を確認しながら、達成度とともに、各校の実践に質の高まりが見られるかを評価し研究を推進する。
- (3) 実践事例の検討を通して、教頭としての力量を高め、魅力ある「豊かな学校づくり」「質の高い教育実践」「教職員の育成」の推進について協議する。

◆県大会・浜松市全体発表の経過と今後の予定

年度	県大会	県	市	部会	課題（県の研究課題）
元年	○県研推	×	○	5部会	
		×	○	6部会	
2年	○県研推	×	○	7部会	
		○	○	8部会	第5課題 教職員の専門性に関する課題
3年	○県研推	×	○	1部会	
		○	○	2部会	第2B課題 子どもの発達に関する課題
4年 (東陸)	○県研推	○	○	3部会	第2A課題 子どもの発達に関する課題
5年	○県研推	○	○	4部会	第5課題 教職員の専門性に関する課題
6年	○県研推	○	○	5部会	第3課題 教育環境整備に関する課題
7年	○県研推	○	○	6部会	第1B課題 教育課程に関する課題
8年	○県研推	○	○	7部会	第4課題 組織・運営に関する課題
9年	○県研推	○	○	8部会	

※令和6年度より、第1分科会は第1分科会A、第1分科会Bとなる。（ABとも内容は同じ）